

きぬがさ

東近江市立能登川西小学校
学校だより No.7
平成30年(2018年)6月20日

本校のカリキュラムマネジメントの一つとして

今年度から、新学習指導要領の移行措置期間が始まりました。学習指導要領は今までから10年に一度見直されてきました。全面実施は2020年度からですが、外国語活動と特別の教科 道徳については、今年度から始まっています。

また、社会に開かれた教育課程の実現に向け、新しい総則には、カリキュラムマネジメントが示されています。教育課程を編成する主体は各学校であるため、毎年評価して教育活動の質の向上を図っていくことがこのカリキュラムマネジメントの大きな側面です。

そこで、今年度の大きな変化とそれに伴う評価や今後の教育活動の具体的な内容を少し紹介させていただきます。



外国語活動の時間が増えています

今年度と来年度は、外国語活動の学習時間が3年生以上で15時間増えます。2020年度からはさらに20時間増えて、高学年は外国語が教科として毎週2時間実施されます。中学年は外国語活動が毎週1時間実施されます。これまでどおり担任とALTで指導の充実を図っていきます。

特別の教科 道徳が始まっています

「生きる力(日本教育出版)」の教科書を使用し、「考え対話する道徳」の学習をしています。授業中や授業以外でも、自分自身の心との対話を大切にしながら議論することを進めています。また、ねらいに応じて道徳ノートやワークシート等を使い分けて学習しています。

通知表「伸びる子」について

外国語活動、総合的な学習の時間と特別の教科道徳は点数評価は行わず、お子様の学習状況や成長の様子について文章で示します。また、毎学期の記入でなく年間を通しての成長を記入いたしますので、例えば道徳に関しては、評価は常に1学期からしておりますが2学期に記入いたします。その後の評価や1学期でも特にお伝えしたいことは所見の欄で記します。

教科学習では、3段階評価はそのままですがテスト重視でなく、プリント・ノート等の提出物、授業中の学びの様子から各項目の到達度を総合的に評価させていただきます。子どもは常に成長し発達するという特性を大切に、個々のお子さんがもっておられる今の可能性を十分伸ばされるよう願って記入いたします。今後のお子さんの成長に役立て、励ましていただきますようお願いいたします。

来年度行事について

今年度から授業時数が増え、授業時数の確保に市内各小学校で工夫がされているところです。今年の「たてわり遠足」は雨でしたが、6年生の活躍で内容的には十分満足できるものでした。残していきたい遠足体験ではありますが多くの時間数が必要でしたので、教育的効果と時間数の分析を行い来年度からは、別の形で「1年生を迎えるたてわり班活動」を行うことにさせていただきます。

また6年生の修学旅行先ですが、奈良・京都での宿泊が年々困難になり、京都では混雑から充実した時間の確保が難しい状況です。つきましては2日目の見学地を京都から兵庫県のキッザニア甲子園に変更する方向で考えております。ご理解いただきますようよろしくお願い申し上げます。

